

【11月22日（日）MJG わくわく体験会のアンケートでいただいた質問内容】

●授業内容について

Q1.授業でも、今回体験した『空気ロケット』をつくったりするのでしょうか？

A1.もちろん、授業にも取り入れております。

【これまで実施しました『入試関連行事』でご質問いただいた質問内容】 ※2020年11月更新

Q1.新型コロナウイルス感染防止に伴う、児童の清掃活動について

A1.感染防止対策として、マスクの着用はもちろん、終了後の手洗い・消毒を徹底し、雑巾がけを除く、ほうきでのほき取り、黒板消し、机の整理整頓を『縦割り（1～6年生）』で行っています。

Q2.新型コロナウイルス感染防止に伴う、休校期間中の授業について

A2.これまでの説明会でお話ししました内容や、お配りした資料です。

休校期間中、『**学びを止めない**』を合言葉に、

小学生新聞、大阪日日新聞などに
本校の取り組みが掲載されました！

zoom や You Tube 限定公開動画を使って**オンライン授業**を行いました。

本校は、児童一人一台 iPad (LTE 採用) を貸与し、調べ学習やアプリを活用した授業を進めています。

【休校期間中に活用したアプリ】

zoom	すべての教科で実施。通常授業に比べ、児童たちの集中力の維持、低学年においては保護者様への負担が大きいことから、You Tube の限定公開動画を併用しながら活用しました。
まなBOX	学びをデジタル化し保存することができる機能に加え、児童と教員との連絡ツールとしても活用できるアプリになっており、関西で導入している小学校は本校のみとなっています。このアプリを通して、zoom や You Tube へスムーズにアクセスできることや、毎日の日記やすべての教科で課題のやり取りを行っていました。
すらら	国語、算数・(数学)、理科、社会、英語が自分の進度に合わせて学習できるアプリになっており、小学生での学習範囲にとどまらず、高校生までの内容が搭載されています。週に1回、上記教科の課題配信を行っていました。(児童の実施状況や躓きを分析する機能もあり) ※英検対策としても活用できます。
スカラスティック	このアプリは英語の多読多聴教材で、導入している小学校は本校のみとなっています。アプリ内には、小学校の部だけでも700冊以上の本を閲覧・音声で聴くことができます。休校期間中は、音読を中心に課題を配信していました。
漢字検定『しり漢』	漢字検定に向けて、自分のレベルに合わせた学習を進めていました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校後の取り組みとして…

この期間、児童たちは普段以上に iPad を活用し課題に取り組んでいたため、情報を『**収集する力**』『**まとめる力**』などの機器活用能力が大幅に向上しました。この力を今後も伸ばしていきたいと考え、通常の授業での活用に加え、**天災による休校時には、オンライン授業**を実施していきます。

学習指導要領に『プログラミング教育』が導入されました

本校では、昨年度から『ICTの時間』を設けて行っていましたが、今年度から全学年毎週1時間の「情報」の時間を設けています。使用している端末は『ICHIGO JAM』で、本格的なプログラミングコードの習得につなげることができます。また、低学年のうちからキーボードのタイピングに挑戦し、中学年には、タッチタイピングの習得を目指しています。プログラミングの学習だけではなく、情報モラルや他教科で使用する keynote などのアプリの活用方法なども段階的に学習できるカリキュラムを整えています。



94年の歴史を持つ箕面自由学園小学校の教育と

最先端のICT環境との融合が、新しい教育の形を生み出します。

本校は2018年度より、児童に一人一台iPadを貸与し、授業での活用だけではなく、家庭でも活用できるように様々な学習アプリを取り入れたり、関西圏の小学校で初の学校向けeポートフォリオシステム『まなBOX』を導入し『学びの新たな形』を実現しました。今春、新型コロナウイルスによって未曾有の休校措置を取らざるを得ない状況でも、本校はICT環境を有効活用して、学園テーマ『**学びを止めない**』を体現することができました。今回は、その大きな支えとなった『まなBOX』をご紹介します。

校長 森 創

【学びのポートフォリオと、教員のポートフォリオ】

eポートフォリオは一般的には、中高生が大学受験に備え、自らの学びを振り返るために活用するイメージが強いと思いますが、本校では、児童・教職員も積極的に活用しています。主な活用方法としては、教材コンテンツの蓄積。動画教材の素材であったり、教員間でよりよい授業をつくり上げるために、様々な意見交流を『まなBOX』を通じて行ったりしています。教科での学びや、授業内容の大切なポイントをデジタルデータとして一元管理し、みんなで共有しています。これが“知の共有”です。また、まなBOX内のデータは、児童たちが取り出すことも可能で、家庭学習にも役立てることができます。こうして、『まなBOX』は「学びのポートフォリオ」として児童たちが自らの学びの成果である文章、作品、発表などが見える化し記録することに加え、「教員のポートフォリオ」として教員がより良い教材作成のためのコンテンツを共有し合う場にもなっています。このようにeポートフォリオが、新型コロナウイルスがもたらした休校時のオンライン授業でも力を発揮することになりました。



【コロナ禍の突然の休校時もスムーズにオンライン授業へ】

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、箕面自由学園小学校は3月から臨時休校措置、そのまま延長が続いた状態で4月の新学期を迎えました。公立校はもちろん、多くの私立校でも休校中の学習について模索していた時期です。しかし、本校では4月には、動画を使った授業やzoomを用いたオンライン授業を開始しました。本校は一人1台のLTEモデルのiPadとなっているため、家庭にWi-Fi環境が整ってなくても学習が可能となっています。児童も教員も常日頃からICT環境に慣れ親しんでいるからこそ、オンライン授業へもスムーズに移行できたのではないかと考えています。保護者の皆様のアンケートからも、オンライン授業に関して多くの方の賛同をいただきました。少人数のクラスということも功を奏し、休校期間中の学習面だけでなく、児童たちとのコミュニケーションもオンラインを通じて問題なく対応ができました。いくらICT環境が充実していても有効に活用しなければ意味がありません。教員が新しいことへ前向きにチャレンジすることも児童たちの『探求心』や『好奇心』につながることが再認識されました。今後もリアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド型の授業が展開できればと考えております。もちろん起こってはいいませんが、万が一の時は、直ぐにオンライン授業へ切り替える備えは既にできております。今後も箕面自由学園のテーマである『**学びを止めない**』を体現し、変わりゆく社会に力強く生き抜く力を児童たちに与え続けて参ります。

●学校生活について

Q1. 登下校の安全対策について

A1. パンフレット 19 ページをご覧ください。登下校指導の期間を設けたり、各最寄り駅より朝の登校指導を行ったりしています。また、スクールバスには、教員が添乗します。通学ルートについては、同封資料または、パンフレット 22 ページをご覧ください。

Q2. 休日（土・日）の登校について

A2. 土曜日については、基本登校日となっております（新型コロナウイルスによる休校中の授業補填）
学校行事は、日曜日に実施する場合があります。

Q3.新型コロナウイルス感染防止対策について

A3.行政からの指示に加え、児童の登校前・下校後に教室や遊具など、教職員全員で消毒作業を行っています。

Q4. 校内での怪我について

A4. 基本的には保健室で行いますが、対応しきれない場合は、養護教諭が引率し、近隣の救急病院へ搬送いたします。特別な配慮を要する場合、入学時に保護者の方からお申し出ください。

Q5. いじめの対策について

A5. 少人数教育の利点を活かし、教職員全員で一人ひとりを見守ります。また、教職員が情報共有し、対応します。学外の教育相談施設や、外部公的機関とも連携を図ります。

Q6. 給食について

A6. 本校の栄養士を中心にメニューを決定し、自校炊飯を行っています。食物アレルギーについては、基本的には対応いたしますが、度合いによって対応仕切れない場合もありますので、ご相談ください。

【食物・アナフィラキシーショック エピペンへの対応】

エピペンの対応については、4月に養護教諭から全教職員に向けて研修を行っております。

Q7. 北大阪急行の新駅が開通した場合のスクールバス運行について

A7. 現在の通学バスルートに停車駅『箕面萱野駅』を加え、運行いたします。大阪市内方面からの通学も便利になります。

Q8. 携帯電話の持参・使用について

A8. 2020年4月の生活だより（在校児童へ配布分）から抜粋

本校では、子どもたちの安全のために通学用携帯電話の所持を許可しています。
安易な使用をしない・させないことにご配慮いただきますよう、お願い致します。

○けいたいでんわをつかってよいとき○

- ・先生のきよかもらったとき（けいほうが出て、早がえりするときなど）
- ・みのきけんをかんだとき ・もよりえき

△けいたいでんわをつかってはいけないとき△

- ・歩いているとき、でん車やバスの中 ・また あとでも よいとき

Q9.土曜日登校について、高学年の塾や習い事との兼ね合いについて

A9.特に対応策はございません。宿題（課題）等は、高学年になると軽減されています。

Q10.給食が苦手な子に対して、どのように接しているのか？

A10 本校は自校給食となっており、栄養士が栄養バランスを考えて調理しております。その観点から、苦手なものでも少しずつ食べることができるように、子どもたちには促しております。給食の時間には、教室に栄養士が来て、『食育』についてのお話しもありますので、子どもたちは自然と苦手なものでも挑戦できるようになってきています。

Q11.高学年の生活や姿も見たい

A11.本来であれば『授業見学会』を行い、児童たちの様子を見ていただくのですが、このような状況ですので、今年度は、実施できません。小学校へお問合せいただければ、日程を調整して、zoomでの授業案内などをさせていただきます。

Q12.体験学習や授業で、児童が特に好きなものは何ですか？

A12.児童によって様々ですが、割合で多いものは、理科となります。特に1・2年生の理科・生活は、人気の授業です。また、放課後の『科学実験教室』も人気です。

Q13.登下校を車で送迎されている方は、どのくらいいらっしゃいますか？

A13.送迎は、学園より原則禁止しております。（幼稚園～高校も同様）児童の体調不良、またご家庭でのお仕事の兼ね合いから、送迎されている方も若干名いらっしゃいます。

Q14.高学年になってもスクールバスは利用できますか？

A14.2020年度実績でお伝えしますと、可能となっております。

Q15.英語以外の教科も詳しく知りたいです。

A15.個別相談や次年度の学校説明会などで、お話しさせていただきます。

Q16.スクールバスを多方面から出せないか？

A16.併設幼稚園と『スクールバス運行時間』が重なっているため、調整をしながら検討していきたいと思っております。現時点でお伝えできることとして、2023年に開業する『箕面萱野駅』は、運行ルートに入ります。

Q17.少人数制による社交性やコミュニケーションの多様性について

A17.横の学年は、1クラスの少人数制ですが、学校行事や授業など、縦の学年（小学校に限らず、幼稚園・中学校・高等学校）との交流も意識して行っております。また、大人数の学校に比べ、授業でも一人一人にスポットが当たり、発言回数も多くなっております。さらに、課外活動・学童保育も縦の学年で動きます。少人数制ですが、児童達の成長により良い環境づくりを常に考えて実施しております。今後、本校も含めその他の学校もご覧になり、お子様にあった学校をお選びいただければと思います。

●授業内容について

Q1. 年間スケジュールや具体的な時間割について（開始時間・終了時間）

A1. 開始時間 8時20分 下校時間 15時（1・2年生） ※木曜日 14時50分 金曜日 15時35分

Q2. 補習授業について

A2. 放課後にCT（チャレンジタイム）を行っています。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

Q3. 休み時間の過ごし方について

A3. 中庭、運動場、教室、図書室（許可が必要）などで自由に過ごしています。子どもたちがのびのびと遊べる環境を整えています。

Q4. ICT機器の活用について

A4. 1人に1台iPad（4G）を貸与しています。本校の情報カリキュラムに沿って、授業で活用しています。また、家庭学習アプリも導入しているため、ご家庭でもご利用いただけます。※セキュリティー有

Q5. 4年生からのコース制に伴う授業時間について

A5. パンフレット5・6ページをご覧ください。

Q6. コースの移動について

A6. 両コースの特徴があるため、やむを得ない場合を除き原則禁止しております。コース選択時にご家庭で十分に検討し、お子様にあったコースをお選びください。（進学コースへの入学は試験があります。）

Q7. 宿題について

A7. 各学年により異なりますが、基礎基本となる学習については宿題を出しています。受験が近づく高学年になると、宿題量は考慮しています。

Q8. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校期間中の授業について

A8. 児童が所持しているiPadには『まなBOX』というアプリを入れています。そこで課題のやり取りをデジタルで行ったり、動画なども配信できます。また、合わせて『zoom』を活用してオンライン授業にも取り組み、カリキュラムに沿って学習を進めていました。

Q9. 図工や家庭科の授業なども高学年になったらあるのか？

A9. もちろんございます。本校は一条校ですので、基本的には小学校で学ぶ教科は、国公立学校と変わりません。

Q10. zoom やオンライン、まなBOX など、コロナ休校中はどのように取り組んでいたのか？

A10. まなBOXについては、これまでの学びをデジタルで取りためたり、また予習してほしい事柄などを文章や動画で事前発信することで、活用してきました。今回の休校期間中は、各教科担当教員からまなBOXへ課題発信し、提出ができるようにプログラムを組んで行っていました。また、児童たちとの顔を見て、言葉のキャッチボールをしながら学びを深めていく教科・単元については、zoomで授業を進めていました。3・4月は、まなBOXを中心に活用し、5月は時間割を組んでzoomでの授業を行っていました。

Q11.公立学校よりコマ数が多い分、何かが削減されているのか？

A11.削減しておりません。土曜日登校や6時間授業の日数を多くすることや、朝の時間の活用など工夫をしながら行っております。

Q12.国語は、発展コース以外でも俳句や帯などを創作する経験は可能か？

A12.コースに関係なく、教科書に書かれていない事柄についても触れながら学習を進めています。

Q13.インターナショナルスクール出身ではなくても、英語はついていけるのか？

A13.本校はインターナショナルスクール出身の園児ばかりではありません。そのような環境ではない幼稚園から来られている児童も、着実に英語力を身につけています。英語のお話の際、ご覧いただいたレシテーション動画は、インターナショナルスクール出身の児童ではございません。

Q14.英語教育の時間は毎日1時間、週5時間となるのか？

A14.毎日1時間、週5時間となります。ただし、進学コースに進まれた場合につきましては、3時間となります。

Q15.週5回の英語教育は、レベル別にわかれるのでしょうか？

A15.レベル別では行っておりません。

Q16.1年生からの英語の授業は、初めて英語にふれる子たちに合わせた授業でしょうか？

A16.全員同じ授業を行います。発音練習に加え、「読む・聞く・書く・話す」の4技能を、一時間の授業に入れた内容となります。

Q17.授業時間数確保について

A17.1・2年生は週2回の6時間授業、3年生以上は全て6時間授業を行い、加えて土曜日の授業（全学年）を行っています。（2020年度実績）体験活動で抜けた授業を差し引いても、十分な授業時間を確保しております。

●その他

Q1. 海外研修の日数と費用について

A1. 現在はオーストラリア ブリスベンにある Canon Hill Anglican College 【2018年度姉妹校締結】へ10日間行っております。費用については、人数・年度によって異なります。

Q2. 入学後、保護者の仕事の都合上、転勤となった場合に転校後の再入学について

A2. 規定はありますが、可能です。

Q3. 小学校から中学校への進学について

A3. 近年、約30～50%の進学率です。受験先については、各ご家庭によって様々で、学年によっても異なります。

Q4. 併設高等学校の大学進学実績について

A4. 2019年度 大学入試結果

国公立大学 77名 合格、 関関同立（関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学）127名 合格
箕面自由学園小学校を卒業した生徒も多数活躍しています。詳細は本校ホームページに記載しております。

2020年度 大学入試結果

国公立大学 89名 合格、 関関同立（関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学）141名 合格
箕面自由学園小学校を卒業した生徒は、今年度も大活躍しています（東京・大阪・神戸・その他 公立）

Q5. 入学時に要する費用について

A5. 併設幼稚園出身者につきましては、以下とは異なりますので、幼稚園または小学校へお問い合わせください。

入学金		220,000 円
制服・制定品	男子	77,000 円
	女子	80,000 円

Q6. 入学後に要する費用について

A6. 転入につきましては、『積立金』の項目が変わります。

※2020年度実績（年額）

学費	授業料	474,000 円
	施設費	36,000 円
諸費	後援会費	24,000 円
	PTA 会費	6,000 円
合計		540,000 円

給食費	77,760 円
積立金	126,000 円
合計	203,760 円

Q7. クラス編成について

A7. 2020年度入学児童より、50名定員とします。また、25～30名を1クラスとなります。

Q8. 中学校高等学校のコースについて

A8. 2019年度より、中学校と高等学校は一貫校となりました。中学には、『理数探求コース』と『グローバルコース』、高等学校には『スーパー特進』『特進』『クラブ選抜』などのコースがあります。詳しくは、中学校高等学校のパンフレットをご覧ください。

Q9. 西日本レシテーションコンテストの出場について

A9. 2019年度現在、西日本レシテーションコンテストの出場規定として、インターナショナルスクール（英語幼稚園）出身児童は出場できません。これは、本校のみの規定ではなく、私立学校全体に統一されています。

※2019年度 西日本レシテーションコンテスト 4年児童 入賞

Q10.わくわく HOME とアフタースクールの違いについて

A10.わくわく HOME は放課後のお預かり保育となり、活動の中で、制作活動やクッキング、音楽や運動など様々なプログラムを行います。

アフタースクールは課外講座として、英語や科学実験教室、そろばんなどを行います。課外講座後、わくわく HOME に参加する児童、授業が終わり直接わくわく HOME に参加する児童など、両プログラムには、たくさんの児童が参加しています。課外講座は学外講師に依頼しているものもありますので、年度によって曜日や時間帯、実施内容が変更される場合があります。

※2019 年度実績はパンフレット 17・18 ページをご参照ください。

【わくわく HOME の費用については、次のページをご参照ください】

Q11.わくわく HOME の高学年利用について

A11.高学年の利用は学年により異なりますが、低学年ほど多くの児童は利用していません。土曜日や長期休暇の特別プログラムによっては高学年が多く参加するものもあります。

Q12.校内進学塾について

A12.クラス分け・レベル別は行っておりません。進学塾は進学・発展コースに関係なく受講可能です。

Q13.キッズ携帯について

A13.本校は、スマートフォンおよびキッズスマートフォンは、禁止しております。ご入学いただいた際に、お子様がお持ちになる場合は、(許可必要)『キッズ携帯(スマートフォンではないもの)』でお願いします。

Q14.千里中央からのバス利用について

A14.2019 年度は、9 名の児童が登下校で千里中央方面(春日町 4 丁目)のバス停を利用しています。ただし、通学時間が異なるため、集団登校は行っておりません。乗車時間は、ご入学いただいた際にご相談させていただきます。毎日 登校見守りで教員がバス停に立ち、下校は集団登校で教員 1 名が引率してバス停へ向かいます。

Q15.アフタースクール(課外講座)『英語道場』について

A15.アフタースクールは、事前にご連絡をいただけますと見学可能です。(今年度は zoom での対応
ご入学後、アフタースクールの利用をお考えの方は、小学校へご連絡ください。

Q16.発展コースに所属して、難関中学受験をされる方はいるのか?

A16.いらっしゃいます。コース制を導入する前も、本校は中学受験を応援する小学校でした。コース選びにつきましては、ご家庭の方針やお子様の性格等も考えながら選択していただいております。

Q17.発展コースと進学コースに進む割合について

A17.コース制を導入して 2 年が経ちました。発展コース〇名、進学コース〇名という定員を決めておりません。3 年生の 12 月(2018・19 年度実績)の進学コース認定試験を受験していただき、学力の面で一定の基礎学力が備わっていることや生活面での様子などを判断し、進学コースへの入学を可能としています。

Q18.アフタースクールは、1~6 年生、全員同じ曜日・時間帯に行うのか?

A18.わくわく HOME につきましては、全学年での活動となります。ただし、授業終了時刻が違うので、全体の活動としては、全学年がそろってからとなります。

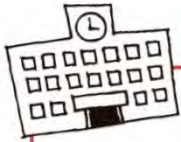
アフタースクール(課外講座)につきましては、講座によっては、年齢により差がありますので、別々の時間帯としています。

Q19.わくわく HOME に通いながら、アフタースクールにも参加できるか？

A19.可能です。アフタースクール（課外講座）受講時間のみ、わくわく HOME を抜けて課外講座へ参加します。

Q20.アフタースクールの時間、内容、金額などを知りたい

A20.課外講師の予定もありますので、年度によって変更されます。今年度実績につきましては、次回の説明会時に資料をお渡しさせていただきます。



箕面自由学園小学校◇わくわく HOME

【箕面自由学園小学校 わくわくHOME 概要】

- 対象者 箕面自由学園小学校・幼稚園に在籍する全児童 職員3名体制
(2019年度現在/登録児童数:141名/常時利用:41名 附属幼稚園年長4名) 毎日平均20名お預かり
- 開設日時 通常月⇒放課後～19:00(月曜日～土曜日) 長期休み期間⇒9:00～19:00(月曜日～土曜日)
- 休校日 日曜日・祝日・小学校休校日
その他(学校行事・行事代休⇒4月 学校方針説明会・入学式・春の運動会)
(9月 学園まつり/10月 秋の運動会/11月 学習発表会/2月 研究発表会/3月 卒業式)
- 開設場所 わくわく教室



会員種別

通常月13時～19時利用 長期休み期間 9時～19時利用料金

○レギュラー会員 毎週利用曜日を固定して利用する会員種別です。

○スポット会員 利用の都度、事前に日時を指定して利用する会員種別です。

★料金 入会金(3000円)【わくわくTシャツ+連絡帳+登録料】 ※別途プログラム材料費が発生する場合がございます。

レギュラー会員	学年	ALL	週4日コース	週3日コース	週2日コース	週1日コース
通常月	全学年	28,000円	25,000円	21,000円	16,000円	10,000円
春・夏・冬(3.4.7.12月)	全学年	33,600円	30,000円	25,200円	19,200円	12,000円
夏休み(8月)	全学年	42,000円	37,500円	31,500円	24,000円	15,000円
スポット利用	時間	金額		その他	金額	
半日スポット 午前・午後	9時～13時◆13時～19時	3,000円/回		前延長・後延長	400円/30分	
1日スポット	9時～19時	5,000円/回		材料費(プログラム)	300円～	

スケジュール(通常月)

スケジュール(長期休み)

■子どもたちの様子・学校行事・プログラム等により内容が変更する場合がございます。ご了承ください。■



振替制度について

レギュラー登録曜日を、同月内の他の曜日に振替えることができます。

1. 対象 : レギュラー会員 [週1日コース ～ 週4日コース]
2. 申込期間 : 振替日の前日の19時迄 3. 使用回数 月2回まで
4. 申込方法 : 連絡帳・れんらくアプリにてお申し込み

※祝日・学校休校日も振替可能(年末年始期間中は振替不可)

持ち物について

- ◆わくわく連絡帳(初回にお渡しします)
- 水筒・ハンカチ・家庭学習(希望者のみ)
- ※長期休みに関しては、持ち物が異なります。
- 都度ご案内を配布致しますのでご確認ください。

支払い方法/料金加算について

学費の引き落とし口座から、利用月の翌々月5日に自動引き落としさせていただきます。利用分に関しては、請求書をお渡しさせていただきます。ご確認ください。
料金加算について、始業式や土曜日等の下校が、13時より早い下校となる場合、前延長料金が加算されます(400円/30分)

特色1

学習サポート

放課後の時間を有効活用し、宿題の確認や家庭学習の取り組みをサポートします

特色2

プログラム充実

毎日多様なプログラムをご用意しています。

特色3

下校サポート

阪急桜井駅・バス停までスタッフが引率し、集団下校します。以降は保護者様のお迎え対応。

特色4

おやつ提供

毎日おやつを提供します。また、長期休みには屋食を子どもたちと調理します

●入学試験について

Q1. 受験までの準備について

A1. ご家庭での時間はもちろん、幼稚園での活動やお友だちと仲良く過ごせるように幼稚園生活を楽しんでください。ペーパーテストの内容や観点など、詳しくは7月19日（日）入試説明会でお話しいたします。幼児教室に通塾されているお子さまにつきましては、担当の先生を通して受験対策・準備（小学校へ入学する準備）を進めてください。

Q2. 面接・試験等について

A2. お仕事のご都合がありますので、出願時 お申し出いただければお父様・お母様のいずれかお一人とお子様での親子面接で結構です。可否に関わることはございません。

Q3. 帰国生の受け入れについて

A3. 特に規定は設けておりません。入学時には同様の試験を受けていただきます。

Q4. 入学試験での生まれ月の考慮について

A4. 特に生まれ月によって、受験日やクラスは分けておりませんが、出願書類に記載された生まれ月は、試験教員全員が拝見しております。

Q5. 幼稚園から小学校への内部進学についての準備

A5. 内部向けの説明会を実施します。また、受験準備会（幼稚園主催）も行います。

Q6. 長期休暇時の預かり時の登校手段について

A6. 公共交通機関での登校、もしくは、学園坂下に40分無料のコインパーキングがございますので、そちらを送迎にご利用ください。

Q7. 授業・わくわくHOMEの見学について

A7. 小学校へご連絡いただければ、ご都合に合わせて日程調整を行います

Q8. 今後、チア・英語体験はありますか？

A8. 今後のイベントで企画してまいります。

Q9. 小学校紹介スライドについて

A9. 本校ホームページに学校生活の様子などをご覧いただける動画を掲載しております。

Q10.現時点での志願者 倍率（A日程・B日程）など、前年度比でどのような傾向か？（男女比を含む）

A10.詳細は『学校説明会』でお伝えさせていただきます。昨年度に比べ志願者・倍率は上がっています。

Q11.募集要項にある定員50名に達すれば2クラスに分かれるのか？

A11.入学者が50名に達すれば、2クラス運営となります。

Q12.A 日程の体験型・標準型の両方を受験した場合、一方が合格ラインに満たず、もう一方が合格ラインを越えていた場合、合否はどうなるのか？

A12.もちろん合格基準に達している場合は、どちらか一方であっても合格となります。

Q13.入試の運動はどのような感じなのか？

A13.例年でお伝えしますと、サーキット運動、なわとび、指示行動やグループ活動となります。ただし、今年度につきましてはグループでの活動は行わない方向で検討しております。

Q14.A 日程・B 日程での合格者数（募集数）の予定は？

A14.A 日程で募集定員の 50 名に近くなれば、B 日程は若干名での募集となります。ぜひとも A 日程専願で受験ください。

A15.編入が可能な学年は、4 年生のみでしょうか？

Q15.2020 年度実績でお伝えしますと、1～5 年生対象に年間 3 回（8 月・12 月・3 月）日程を設けています。ただし、定員に満たしている学年につきましては、今後募集対象学年には入りません。また、小学校入試にご受験いただいた方の編入試験につきましては、受験不可となります。

Q16.入試の際に下の兄弟を連れていくことは可能でしょうか？また、面接ではどうでしょうか？

A16.面接当日、基本的には同室不可となっております。説明会や入試当日、他の受験者の方々のご迷惑とならない場合は、ご家庭のご判断にお任せしております。

Q17.参加できなかったため、体験型の入試体験を別日に設けていただけませんか？

A17.大変申し訳ございません。学園の施設使用状況などから、実施できません。

Q18.新型コロナウイルス感染に関わる A 日程入試対応について

A18.A 日程当日、万が一ご家族やご本人・保護者の方が濃厚接触に当たる場合は、B 日程をご受験いただきます。その場合、再度 願書等を提出していただく必要はございません。加え、A 日程と同様の合格基準にて判断させていただきます。（その際は、必ず学校へご連絡ください。ご連絡がない場合は、不合格となります。）

Q19.弟妹・双子で受験する場合の合格基準について

A19.合格基準を変更することはございません。試験当日まで、ご準備いただけると幸いです。

Q20.今年度は 1 クラスですか？2 クラスですか？

A20.今年度入試の合格者数によります。合格者（専願者）が 45 名を超えるようであれば 2 クラス運営となります。